

令和6年4月1日

令和6年度
つくば秀英高等学校 経営計画

つくば秀英高等学校
校長 石川 英昭

1. 学校の現況

学 科	全日制 普通科		(単位：人)			
入学定員	320 名		入学者数		298 名	
収容定員	960 名		在籍総数		1,029 名 (5月1日現在)	
教職員数	校長	本務教員	兼務教員	本務職員	兼務職員	計
	1	50	25	10	5	91
本務教員 内 訳	教頭	副教頭	教諭	講師	養護教諭	計
	1	1	37	10	1	50

2. スクール・ミッション

建学の精神（自主・博愛・創造）のもと、生徒一人ひとりの自主性を尊重し、多様で柔軟な特色ある教育活動をとおして、広く国際社会で活躍できる次代を担う人材を育成します。

*国際化が進展する社会を力強く生きていくために、アクティブ・ラーニング授業やICT教育の充実、英語力の強化などをはじめとする特色ある教育活動をとおして、新しい時代にふさわしい人間力を育みます。

3. グラデュエーション・ポリシー

(身に付ける力)

- 〈自主〉知的好奇心をもって何にでも挑戦できる人間的な力
- 〈博愛〉協働や対話を通じて、他者を理解し、相互に高められる力
- 〈創造〉知識を統合しそれを実現する過程を通して、新たな視点を身に付ける力
- 〈英語の秀英〉英語力とともに多様な価値観を学び、世界的な広い視野を身に付けることのできる力

(育てたい生徒像)

- ・ 高い志をもって、主体的に学びに向かう生徒
- ・ 他者を理解し課題解決に向けて協働し、自己実現を図れる生徒
- ・ 学んだことを生かし、新たな価値を創造する力を持つ生徒
- ・ 異文化を理解し、優れた国際感覚を持った生徒

4. カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成方針)

- ・高い進路目標に向けて学習を積み上げるプログラムを提供します。
- ・生徒一人ひとりのキャリア形成を行う教育プログラムを設定します。
- ・基礎学力を重視するカリキュラムをはじめ、多様なプログラムを編成します。
- ・多文化理解を深めるとともに、グローバルマインドを育てます。

(教育課程の実施方針)

- ・あらゆる場面においてコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を高めます。
- ・自ら考え、目標に向かって継続的に努力することで「確かな学力」を身に付けます。
- ・四技能を重視した実践的な英語教育を行います。

5. アドミSSION・ポリシー

- ・日頃から自己管理ができ、心身ともに健康で高校生らしい学校生活を送れる生徒
- ・「わくわく」した心で、何事にも前向きにチャレンジできる生徒
- ・マナーを守り、他者に対して思いやりの心を持ち、他者と協働できる生徒
- ・知的好奇心が豊かで、学びに対して積極的なだけでなく、アクティブ・ラーニングを通し深く学ぼうとする生徒
- ・プレゼンテーションを通じて、未来への道を語り、切り拓こうとする生徒
- ・英語によるコミュニケーション力の向上に努め、資格取得を目指すなど自らを高めようとする生徒

6. 令和6年度の重点目標

- 1) 知的好奇心に基づく真の学びの楽しさを実感できる授業を追求する。
- 2) 安心できるクラスづくりに基づき、アクティブ・ラーニング型授業を活性化する。
- 3) 「チームコーチング制」による本格的なコーチングによって、Sコースの大幅な学力向上を実現する。
- 4) 「キャリア探究プロジェクト」を通じてプレゼンテーション能力を養うとともに、〈語れる自分〉を確立させる。
- 5) 「ICA（国際コミュニケーション活動）プログラム」による動機づけを軸とし、英語力向上を目指す。

令和6年度 つくば秀英高等学校 学校関係者評価結果表

1. 本年度の重点目標

- 1) 知的好奇心に基づく真の学びの楽しさを実感できる授業を追求する。
- 2) 安心できるクラスづくりに基づき、アクティブラーニング型授業を活性化化する。
- 3) 「チームコーチング制」による本格的なコーチングによって、Sコースの大幅な学力向上を実現する。
- 4) 「キャリア探究プロジェクト」を通じてプレゼンテーション能力を養うとともに〈語れる自分〉を確立させる。
- 5) 「ICA（国際コミュニケーション活動）プログラム」による動機づけを軸とし、英語力向上を目指す。

2. 自己評価の結果に対する学校関係者評価

(令和7年3月27日)

校務分掌	重点目標	自己評価	学校関係者評価※
教務部	教務	基本スキル定着および学びの意味を意識した授業改善 教員の業務効率化	4
	ICT	校内通信環境の充実 教育ICT環境の充実	
	第1学年	学力の向上 学園生活の充実 進路の具体化 保護者との連携	
	第2学年	学力の向上 学園生活の充実 進路の具体化 保護者との連携	
	第3学年	学力の向上 学園生活の充実 進路実現 保護者との連携	
	国語科	共通テストへの教員間の情報共有 思考・論述力の強化 多角的視野の育成 ICTを活用したアクティブ・ラーニング授業、プレゼンテーション能力の強化	
	地歴・公民科	主体性・自主性の育成 社会人としての資質の向上 教員研修の充実	
	数学科	問題解決能力の育成 学力の向上 基礎学力の定着	
	理科	学力の向上(1) 学力の向上(2)	
	英語科	学力の向上 英検合格率アップ 言語活動を増やす 英語学習へのモチベーションアップ	
	保健体育	心身の健康を保持増進する能力を高める	
	芸術科	感性を磨き、豊かな心の育成	
	情報科	学力の3要素を基盤とした素養の育成 プログラミング教育の充実 情報社会に参画する態度の育成	
	家庭科	授業の改革 教員のスキルアップ	

校務分掌	重点目標	自己評価	学校関係者評価※
入試・進路統括	入試	入学者に占める第一志望者増 WEB戦略の強化・チラシの効果的配布（PR） 「わくわく体験会」開催	4
	進路	生徒の進路意識の向上 進路指導（大学入試・専門学校・就職）への支援 大学進学率80%を目指して 学習活動の支援	
	Sコース	学力向上 国公立大学（特に茨城県内）の合格者（割合）増 GMARCH以上の私立大学の合格者増	
	Tコース	基礎学力の定着 学力の定着国公立大学、日東駒専への合格を目指す T選抜クラスの運用強化 進路実現を目指したキャリア教育の充実	
	生活指導・いじめ対策室	いじめ問題への迅速かつ的確な対応、生徒に寄り添った対策 SNS上での問題の対応や携帯端末の使用 制服着こなし、登下校中の自転車の乗り方	
	保健環境・カウンセリング係	心身の悩みとフォローアップ 校舎内外の環境整備の徹底	
	特別活動係	協働する力の育成	
	PTA係	PTA各組織の円滑な運営と活性化	

※本校の教育活動に関する意見交換により得られた自己評価の結果等についての評価である。

評価基準

5：十分適正である 4：適正である 3：概ね適正である

2：やや適正に欠ける 1：適正でない

令和6年度 つくば秀英高等学校 第三者評価結果表

(令和7年3月27日)

評 価 事 項		評 価	
1	本校の教育理念の実践について	⑤: 十分適正である 4: 適正である 3: 概ね適正である 2: やや適正に欠ける 1: 適正でない	
2	当年度の教育目標に対する取組とその成果について (主に授業、生徒指導、進路指導、部活動等の状況を中心に)	校務分掌	⑤: 十分適正である 4: 適正である 3: 概ね適正である 2: やや適正に欠ける 1: 適正でない
		学年	5: 十分適正である ④: 適正である 3: 概ね適正である 2: やや適正に欠ける 1: 適正でない
		コース	5: 十分適正である ④: 適正である 3: 概ね適正である 2: やや適正に欠ける 1: 適正でない
		教科	5: 十分適正である ④: 適正である 3: 概ね適正である 2: やや適正に欠ける 1: 適正でない
3	当年度の課題と今後の方策について	5: 十分適正である ④: 適正である 3: 概ね適正である 2: やや適正に欠ける 1: 適正でない	
4	本校の組織運営について	⑤: 十分適正である 4: 適正である 3: 概ね適正である 2: やや適正に欠ける 1: 適正でない	

(評価者の意見等)

- ・毎年度、建学の精神に基づく教育目標が設定され、活発な教育活動が展開されている。

・「つくば」のみならず、日本・世界で活躍できる人材の育成に、なお一層尽力されることを期待します。

万博記念公園駅前北沢一江実行委員会会長 根本行雄



※上記は自己評価結果や学校関係者評価の実施状況を踏まえて、本校の学校運営の状況について評価したものである。